

## 伊勢茶の米国輸出向け栽培における病害虫防除指針

利用対象：三重県内の米国輸出向け茶生産農家

米国の残留農薬基準（MRL）に対応した荒茶を生産するために、MRLを超過するリスクの低い農薬を選定し、一・二・秋番茶を輸出対象とした年間の防除体系を構築しました。

米国輸出向けかぶせ茶栽培（一番茶－二番茶－秋番茶の輸出）における年間防除体系のモデル

防除時期	対象病害虫（追加防除）	使用する農薬の例（薬剤の分類）	ポイント
3月下 一茶萌芽前	ハダニ類	スピロメシフェン水和剤（虫23）	各地の病害虫の発生状況に応じて防除体系を組む。
4月上 一茶生育期	ハダニ類	BPPS乳剤（虫12）	
5月中～下 二茶生育期	（ハマキガ類）	（追加防除を行う場合）BT剤（微生物） （夏期の防除の代替）トートリルア剤	フェロモントラップを利用して、ハマキガ類やホソガの適期防除。
6月上 二茶生育期	チャノホソガ、ハダニ類 チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	ミルベメクチン乳剤（虫6） トルフェンピラド水和剤（虫21）	発生予察情報を活用したカイガラムシの適期防除。
7月中 二茶整枝後	輪斑病	アゾキシストロピン水和剤（菌11）	トートリルア剤を使用する場合、ハマキガ防除は不要。
7月下 三茶生育期	クワシロカイガラムシ チャノミドリヒメヨコバイ	フェンピロキシメート・ブプロフェジン水和剤 （虫21・虫16）	土着天敵に影響の少ない農薬を選ぶ。
8月上 三茶生育期	チャノキイロアザミウマ	ピリフルキナゾン水和剤（虫9）	
8月上～中 三茶生育期	チャノミドリヒメヨコバイ ハマキガ類ほか	※秋番茶摘採40日以上前に散布 クロラントラニプロール水和剤（虫28）	抵抗性対策として同一系統農薬の連用を避ける。
8月中 秋茶生育期	チャウ目害虫	銅水和剤（菌M1）	
8月下～9月中 秋茶生育期	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ	クロチアニジン水溶剤（虫4）	
1～3月	（クワシロカイガラムシ）	ピリプロキシフェンマイクロカプセル剤（虫7）	

年間の農薬散布回数8回・農薬成分数11成分（必要に応じて追加防除）

2017年1月31日現在の情報に基づいたものであり、定期的に最新の情報を確認すること。

伊勢茶の米国輸出向け栽培における病害虫防除指針の構成

1. 米国輸出向け栽培において使用可能な農薬
2. 米国輸出向けかぶせ茶栽培における年間防除体系の例
3. 海外輸出向け防除体系を構築する際の注意事項
4. 被覆栽培が農薬成分の減衰に及ぼす影響
5. 化学合成農薬代替防除技術の導入 など



米国輸出に対応した伊勢茶商品（イメージ）

お問い合わせ先	三重県農業研究所 茶業研究室 田中千晴 電話 0595-82-3125
	中央農業改良普及センター 野村茂弘 電話 0598-42-6323
参考になる資料	三重農研HP : <a href="http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm">http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm</a>